

生活科

昨年度の取り組みと成果と課題

【 成果 】

- ・栽培活動や水鉄砲、シャボン玉作りといった活動や体験を通して、身近な自然や夏の特徴を生かしながら、友達と仲よく、夏の遊びを工夫して考えながら遊ぶことができた。
- ・学校探検や縦割り班での遠足等では、1、2年生が交流する機会を設け、年下の児童の希望などを取り入れた。主体的に目的意識をもって活動し、意欲や自信を育むことができた。
- ・園芸ボランティアやコーディネーター、地域の人との関わりを通して、自然と自分と関りに気付き、季節によっての周りの様子や生き物の様子の違いを実感できた。

【 課題 】

- ・昆虫が苦手な児童が多くなっている。虫を嫌って大騒ぎをしたり、虫捕りを嫌がったりする児童が多くなっている。
- ・活動や体験の中で、いろいろな気付きはあるが、自分の気付きや思いを上手に表現できない児童がいる。

学習状況の分析

○知識・技能

- ・1年生は、学校生活に関わる活動を通して、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かった。
- ・栽培活動を行う中で、植物が変化し、成長していることに気付くとともに、生命をもっていることやその大切さに気付くことができた。
- ・2年生は、野菜を種から育て、観察や世話を通じて、育つ場所、世話の仕方、変化や成長の様子に気付くとともに、愛着をもって世話をすることができた。

○思考・判断・表現

- ・学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々、通学路の様子や安全を守っている人々について考えることができた。
- ・栽培活動を行う中で、観察カードやタブレットで写真を撮り記録することで、植物が変化していく様子について考えたり、違いを比べたり、それらの特徴を見付けることができた。
- ・身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫して作ることができた。

○主体的に取り組む態度

- ・楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりすることができた。
- ・体験的な活動（学校探検、植物の栽培など）に、楽しみながら意欲的に取り組んだ。
- ・自然との継続的な関わりを通して、季節の変化や植物の成長などに気付き、楽しみながら積極的に世話をする児童が多かった。咲いた花やできた実に喜びを感じながら、関わることができ、生き物への親しみをもち、大切にしようとする態度を養うことができた。
- ・図書の間では、図書室で植物に関する本を探し、児童がすすんで本を読み、植物の成長の様子に関心をもたせることができた。
- ・2年生の町探検は、自分たちの町の知っているところについて話し合い、地域の人々や場所に親しみや愛着をもつことができた。2学期は、友達と協力して探検したり、調べたりする活動を通して、自分たちの町について関心を高めていく。
- ・コーディネーターなかよし中萩の方々と協力し、様々な植物を育てたり、地域のことを知ったりすることができた。

授業改善のポイント（観点別）

○知識・技能

- ・夏遊びなど四季の変化を感じ取れるような活動を行い、季節によつての生活の様子や生き物の様子の違いを実感できるようにする。
- ・小さい頃の写真や思い出の品を手がかりにしながら、「今の自分」について振り返り、心、学習、生活、身体など、様々な面で成長したことに気付くことができるように指導する。
- ・自分自身の生活や成長を振り返ることで、生活は互いに支え合っていることや大きくなったことで自分でできるようになったことが増えたことなどが分かるようにする。
- ・地域のお店や施設を訪問したり、そこで働く人々や利用する人々にインタビューしたりすることで、自分たちの生活は、様々な人や場所と関わっていることが分かるように指導する。

○思考・判断・表現

- ・家庭生活に関わる活動を行うことで、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができるようにする。
- ・学習内容を紹介する動画を作ったり、ポスターにまとめたりするなど、学習した内容を伝え合ったり発表したりする場面を設け、考えを出し合つて交流する。
- ・児童自身の体験や活動を通した気付きを教師が価値付ける。児童が考える場面を設けることで、思いを表現できるようにする。
- ・学習の気付きを本人だけにとどめず、グループ・クラス・学年などに広げ、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法で発表し、一人一人の気付きを全員で共有することで、思考をより広げていく。
- ・自分の気付きや思いを表現することが苦手な児童が、自信をもって取り組めるようにグループ編成や発表形態を考慮する。
- ・学習内容を伝える相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりできるようにする。

○主体的に取り組む態度

- ・1、2年の異学年交流では、年度当初に計画的に交流する時間を設け、事前に児童の希望などを聞くなど、主体的に自分の思いを実現できるように活動を実施する。
- ・活動前の目標や、活動後の振り返りをグループ・クラス・学年などと共有して、すすんで触れ合い交流しようとする態度を育む。
- ・2年生では、町の人々やお店など様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力して町の人との交流を深めたりして、地域のよさを感じたり愛着をもつことができるようにする。
- ・萩中公園、商店街、多摩川の土手や校庭を探検する学習活動を行うことを通して、自然の様子や四季の変化について関心意欲を高める。
- ・栄養士による食育の授業を通して、給食に関わる人たちの思いや残食について学び、食についての関心を高める。
- ・自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする態度を養う。